

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『小児の睡眠のマクロ・ミクロ構造における第一夜効果の出現と個人要因の関連』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2019年11月22日より2022年12月31日までの間に、睡眠・覚醒障害研究部で「子どもの睡眠調節に対する睡眠恒常性機能と概日リズム機能の寄与(NCNP 倫理委員会承認番号:A2019-058)」の研究に参加された方

【研究期間】

2023年4月24日より2025年3月31日まで

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部
北村 真吾

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

研究名称: 小児の睡眠のマクロ・ミクロ構造における第一夜効果の出現と個人要因の関連

利用目的: 終夜睡眠ポリグラフ検査(PSG)は睡眠状態を知る標準的な客観的評価法ですが、脳波室という特殊な場所やたくさんのセンサーの装着が必要な測定であり、測定に慣れていない人には「第一夜効果」という、実際よりも睡眠の質が悪くなる現象がみられます。子どもではこの第一夜効果が発生しやすい傾向が指摘されますが、年齢に伴ってどのように傾向が変わるのかや、睡眠のどのようなタイミングや特徴に第一夜効果がみられるのかといった詳しいことは不明です。本研究では、過去に上記研究において記録させていただいたデータを利用して、子どものPSGにおける第一夜効果の現れ方を調べ、さらに基本情報(年齢・性別など)・睡眠習慣・朝型夜型傾向などがどのように関連するかを調べることを目的としています。

利用方法: 2夜のPSGデータと基本情報(年齢・性別など)、睡眠習慣の記録、アンケートの回答を用いて、PSGの第一夜効果の現れ方と関連情報との関係性を調査いたします。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等: 終夜睡眠ポリグラフ検査の結果、基本情報(年齢・性別・身長・体重・BMI)、在宅睡眠記録(睡眠日誌、アクチグラフィ)、質問紙(CCTQ, MEQ, MCTQ)

利用する試料・情報の取得の方法

情報: 研究データから入手

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所
所属 睡眠・覚醒障害研究部 氏名 北村 真吾
電話番号
e-mail:s-kita※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail:ml_rinrijimu※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)